

(別添3)

【鶴ヶ島市】  
校務DX計画

校務の効率化を図り、児童・生徒と向き合う時間を確保するために、校務DXを推進する。

#### 1. 1人1台端末(指導者用校務用端末)の整備

令和5年3月の指導者用校務用端末更新により、1人1台端末の整備をしています。

このことから、今後は、環境に合わせた端末の更新を目指し、計画的な更新スケジュールを立て、校務に必要な1人1台端末の環境を維持します。

#### 2. ネットワーク環境

令和7年度に鶴ヶ島市学校ICT整備計画を策定する予定であり、令和8年度以降にゼロトラストに基づくセキュリティ対策を導入し、校務系・学習系のネットワークの一元化ができるよう取り組みます。

#### 3. 統合型校務支援システムの更改

現在の統合型支援システムは令和2年度から運用を開始しています。このシステムの導入により 各業務の情報連携が進み、事務の効率化が図られています。

現行システムの契約期間は、令和7年3月31日までとなっており、令和7年度は現行の機器等を延長利用したうえで、鶴ヶ島市学校ICT整備計画を策定し、令和8年度の更改に向けたシステム内容の検討を進めてまいります。

#### 4. FAXの原則廃止

##### (1) 学校と教育委員会との情報交換

学校(校務系)と教育委員会(情報系)はネットワークが分離されているため、情報交換は電子メールが主となっています。

また、令和6年度から、分離されたネットワークを繋ぐフォルダ「情報系校務系ファイル交換」を構築し、やり取りの内容によっては電子メールに代わるツールとして活用しています。

しかしながら、令和7年1月に学校へFAXでやり取りしている業務の調査を実施した結果、一部FAXを利用している業務が判明しているため、メールでの情報交換が可能となるか等、各業務を精査したうえで、FAXの原則廃止に取り組みます。

##### (2) 外部事業者等との情報交換

令和7年1月に学校へFAXでやり取りしている業務の調査を実施した結果、多種多様な業務にFAXを利用していることが判明していることから、電子メールでの情報交換が可能となるか等、各業務を精査したうえで、FAXの原則廃止に取り組みます。